

特定非営利活動法人
日本雲南聯誼協會
【本 部】〒141-0021 東京都品川区上大崎3-1-1
JR東急目黒ビル7F
Tel. (03) 5435-5977 Fax. (03) 5435-5978
Email: yunnan@jyfa.org
URL: http://www.jyfa.org
【雲南事務局】雲南省昆明市拓東45号世博大 2605室
Tel. +86-871-3188468 Fax. +86-871-3188468
編集・発行人 初鹿野惠蘭
印刷協力 潤日經印刷 潤技術評論社

Japan Yunnan
Friendship Association

彩雲の南

会報

第18号

発行日 2006年(平成18年)1月10日

新年明けましておめでとうございます!

平成18年1月 NPO法人日本雲南聯誼協會 役員・事務局一同

新しい年の始まりです。故郷雲南省のより多くの少数民族児童に教育を、と初鹿野理事長がたった一人で始めた活動も、協会設立から6年目を迎えることができました。教育支援活動を通じて日本と雲南の民間交流を進め、その輪が今大きく広まりつつあります。これもひとえに当協会の活動にご賛同し応援し続けてくださった一人ひとりの会員、協力者の皆様のおかげです。新しい年



上) 他撒小学校の児童たちの笑顔
右) 独龍江の子供たち 教室の中で並んで

新年好!



を迎えた今日、改めてお詫び申上げます。

私ども日本・雲南聯誼協会は、雲南省の少数民族の子供たちに学びの機会を提供したいと、雲南省25の少数民族に、50の小学校を建設すること目標に、2000年プロジェクトを開始しました。以来、協会活動の大きな柱となっているのがこの教育支援活動です。5年間、知識を得た多くの卒業生を見送りながら、少数民族教育

支援の大切さを実感しています。昨年からは日本の小学校とのフレンドシップ協定締結・交流も始まりました。また、学校建設事業は第8校目の建設も始まっています。

今年一年も、ご支援ご協力のほど、宜しくお願ひ致します。

万事如意!



上) 天真小学校の子供たち もらったノートを大切に掲げて
左) 茂実小学校の子供たち チベット族の衣装をまとって



中央写真) 他撒小学校視察にて ハニ族の女の子 温かい愛とご支持に心より感謝申し上げます!

衷心的感谢您的厚爱和支持!

50の小学校プロジェクト — 少数民族地区小学校建設事業 —



■ 50の小学校プロジェクト

雲南省の少数民族の多くは山岳地帯などの厳しい自然環境の中で暮らしており、食べる物も着る物も十分ではありません。学校がないなどの理由で、義務教育を受けられない子供たちが沢山います。また、学校はあっても、往復20kmも歩かなければならなかったり、家庭の経済的事情で進学せざるを得ない状況にあったり、校舎の状態が悪かったりする地域が多数あります。このような子供達の学習環境を整え、教育の面から雲南省をサポートしようとそれが協会の50の小学校プロジェクトの狙いです。協会からの学校建設の支援金は全体の建設費の1/3～1/2、というように雲南省もしくは現地教育局と金額を折半する形をとっています。学校完成後の運営を引き継ぎ地域にきちんとしてもらうためです。

プロジェクトの流れを追った図1をご覧下さい。本当に必要とされている場所に小学校を建設するため、何度も現地に赴き視察し、現地教育局とのやりとりを重ねます。建設候補地がある程度確定すると、理事会で、環境・経済その他の条件を加味して建設するか否かを討議、決定します。そして現地教育局との打合せを経、建設委員会を設置、いよいよ建設工事が開始します。工事は現地の建設会社が担当し、協会と建設委員会の監督の下完成に向かいます。ここまで段階を経、開校式を迎えるまでは1、2年です。協会では開校式ツアーや組み、会員の皆さんと子供たち、村人、現地政府が一緒にこのめでたい日をお祝いします。小学校開校後も、5年間を目処に運営状況の報告を小学校側からしてもらい、なにか問題や要望があれば一緒に検討し解決します。

日本的小・中学校と雲南の支援小学校の間にフレンドシップ協定を結び、双方地域を巻き込んでの交流も推進します。また、年に何度か協会会員が学校を訪問し、文房具を贈ったり交流の場を持つこともあります。

図1
プロジェクトの流れ図2
これまでの支援小学校位置図

としては、各地に点在する小規模の分校を統一して、ある程度の規模を持った存続可能な本校を作ることです。宿舎を備え、地域の子供を学校に呼び、学ぶ環境を整えていきます。

昨年、支援第4校目中甸縣騰衝心小学校と沖縄県仲井上小学校がフレンドシップ協定第1号となりました。お互いの写真のやりとりなど、まだ交流は始まったばかりですが、今後さらに踏み込んだ交流をしていく予定です。これから、日本でのフレンドシップ協定校の相手学校探しも活動の課題になってきます。

現在建設中の8校目中甸撒心小(ひろしまさりの)の石国際教育財團助成金)、9校目木秀鎮中心小(NPO天真会ご支援)は、2006年初頭に完成、4月12日(水)の開校式を予定しています。校舎完成に向けて建設工事は順調に進んでいます。この2校の開校式ツアーや開催詳細決定次第、会報やメール通信、ウェブサイト上で発表いたします。どうぞお楽しみに!

小学校プロジェクトの歩み

- ①第1校目 日本国立德慈恵学校(2000年)
紅河ハニ族イ族自治州金塘県(ヤオ族)
- ②第2校目 日中吉龍小学校(2001年)
迪慶州中甸縣尼史村(チベット族)
- ③第3校目 日中茂实小学校(2002年)
迪慶チベット族自治州(チベット族)
- ④第4校目 日中騰衝心小学校(2003年)
怒江リス族自治州福贡县洛党鄉(リス族)
- ⑤第5校目 日中天真心小学校(2004年)
昆明市嵩明县白邑鄉(ミャオ族、回族)
- ⑥第6校目 日中青那桶心小学校(2005年)
怒江リス族自治州賓江县丙中洛鄉那桶村(ドゥーロン族、ミー族、チベット族)
- ⑦第7校目 日中果利心小学校(2005年)
怒江リス族自治州福贡县匹河鄉果利村(ミー族)
- ⑧第8校目 日中恒德心小学校(2006年完成予定)
紅河ハニ族イ族自治州甲寅鄉撒村(ハニ族)
- ⑨第9校目 木秀鎮中心小学校(2006年完成予定)

2005年度忘年会チャリティー企画 「第7校目小学校にバスケットコートを！」

皆様からの忘年会会費の一部・チャリティバザー売上金を合わせ、
325,170円の支援金が集まりました。非常感謝！

協会では小学校校舎の建設を通して、雲南省少数民族の教育支援を行っています。壁が崩壊寸前であったり下水道の整備がままならなかったりする学校が多い中、安全で清潔な教育環境を整えることが重要だと考えます。同時に、校舎建設後も継続的に視察を行い、設備維持や教育内容に提言をしていくことは、10年後・20年後の雲南省の教育発展に繋がることです。今回の忘年会チャリティー企画「第7校目小学校にバスケットコートを！」は、忘年会会費の一部とバザー売上を支援金とする企画でした。集まった支援金はさっそく雲南に届けられ近日工事が開始します。その模様はまた後日、会報・サイト上で報告いたします。

●第7校目 日中果科儒心小学校について●

日中果科傷心小学校は、雲南省の北西部に位置する福貢県怒江州の中腹にある匹河郷果科村にあります。村には主にヌー族が暮らしています。2003年度の人々の平均収入は756人民元(1万円弱)。農作や産業などを行うのが難しい環境の中、経済的に厳しい暮らしをしています。匹河郷内唯一の小学校であり、現在児童数は77名。元々、1959年に開校しましたが、長年使用されてきた校舎の破損は深刻で危険であるとされた為、当協会が校舎政策の支援を決定し、昨年8月に開校式を迎えました。

●バスケットコート（運動場）建設について●

福岡県全体の教育を考えると、小学校の規模を将来的に7クラス、在校生158名まで拡大していくことが地域からの要望です。現在の学校には運動場がないことから、体育科の授業に影響を与えるだけでなく、児童の身体的発達の障害となっています。運動場を兼ねたバスケットコートを建設し、学校の体育教育の充実と学生の道徳、知力、体力の発達を促進しようと考えます。このように県立小学校のバスケットコート建設は、切に必要とされている事業です。



昆明事務局です

皆様に愛されて昆明事務局は現地雲南省で日々元気に活動しています。2005年は昆明事務局も大活躍の1年でした。片岡編集のご支援で一昨年開設しました昆明事務局も、今年はより交通アクセスの良い場所への移転を計画しています。スタッフ一同力を合わせて今年も頑張って行きたいと思います。昆明事務局では、小学校の授業調査などの業務と共に、会員の皆さんが雲南にお越しの際には旅行の手配等も行っています。

■2005年昆明事務局主な活動■

- 1月
・理事長と北原院長（当協会理事）ら紅河州ハニ族の小学校視察
(昆明事務局・林同行)

4月
・理事長雲南出張

8校目建設（雲南省紅河ハニ族イ族自治州）についての最終話し合い、8月の懇親会についての打ち合わせ、昆明中華文化学院日本語学科訪問（林同行）

5月
・理事長、七田（東京事務局）雲南昆明貿易交流会に参加
会議出席と8月の開校式と懇親会ツアーオンについての話し合い、8校目の支援関係・書類の調印

7月
・北原院長、野々山事務長昆明訪問（林同行、通訳）脳神経外科病院の打ち合わせ

8月
6・7校目開校式ツアーオン、怒江・麗江・大理、昆明（昆明事務局・二見同行）
五周年記念懇親会（青木宏之監修、吉田晶子様訪昆）
・シャングリラに関するテレビ番組調査協力

9月
・慶應大学グループ、紅河他撒村と嵩明県の小学校で運動会を開く。
(林、二見同行、調査)

技術評論社・理事長、昆明・麗江・石林訪問（昆明会員、協会関係者と会食）

10月
・雲南師範大学大礼堂での東方芸術団の公演（南里、林、二見）
・日本より徳井様（会員）、阿部様が写真撮影旅行の為に麗江・シャングリラ・徳鐵を訪問（協会旅行手配）
NIKKI 人財販売に関する調査協力
・広島祈りの石国际教育財团 助成金申請
・ワンクリック募金 申請

12月
・メール通信昆明版開始
・昆明事務局忘年会（昆明会員、林、二見）
・縦横様（会員）麗江・昆明訪問（協会旅行手配）
桂理事昆明訪問



左) 昆明事務局オフィス
右) 12月の昆明会員と事務局の忘年会

運動会で国際交流

日本の大学生達が雲南省の小学校で「日本式」運動会開催
(2005/9/8-15)

2005年9月8日から一週間、嘉悦大学の山田寛教授と7名の大学生を中心とした一行が雲南省を訪れ、現在建設中の紅河州にある協会支援第8校目他撒小学校と、昆明市嵩明県の第5校目天真小学校で運動会を行いました。晴天の9月13日、一行は天主小学校に到着、運動会の種目は、玉入れ騎馬戦、二人三脚、借り物競争、風船運び、PK戦、綱引き。紅白の2組に分かれて点を競います。最初は初めての運動会に戸惑っていた子どもたちも、競技が進むほどに盛り上がり楽しんでいました。



天真小の前で子供達が手にしているのは大学生たちからの贈り物のノート



山田先生と他教小学校の児童たち
（後ろ）山田先生

高橋大學 小田宮教授

堀悦人氏 山田亮教授
ゼミで「世界の子どもの諸問題」をテーマにしている私は、3年前から夏休みに学生たちとアジアの田舎の小学校を訪れ、田風の運動会を開いている。今年雲南を運んだきっかけはテレビで中国の山奥の小学校教師のドラマや貧しい小学生のドキュメントを見て、教材に使ったことだった。他の授小学校では時間がなくなり、いくつ種目のできずじまいになってしまったのは心残りだったが、どちらの学校でも、子どもたち、先生、村の人々が大歓迎してくれた自然条件の厳しさもあり、これまで訪れたカンボジアなどくらべても、子どもたちあまり「運動慣れ」していない感じだったが、紅白玉入れや駆馬戦など日本の運動会の定番の競技を、心から楽しんでくれたところを見えた。

最後に日本側参加者全員から子供達にノートを
学校からは包袋のついた中国飾りのプレゼントが
ありました。全校生徒、先生方、政府の方々が入って
記念撮影をし、運動会は終了しました。子供達が楽しく競い合い、「頑張れ!」と応援し合う様子
を見て、地元政府の方々や先生たちも、「これから
もこうして若い世代同志で日中の交流と理解を深め
ていいって欲しい。」「子供達が楽しそうで、まるで
年越しみたいだ。」「お兄さんやお姉さん達と一緒に
遊べて本当に楽しそう。」と話していました。周辺
小学校初めての「日本式」運動会。子供も大人も
大学生達も楽しく過ごした3時間でした。

昨春、中国では反日デモが吹き荒れた。私たちが訪れたのも、抗日戰勝記念日（9月3日）の直後で、テレビでは抗日キャンペーン番組が次々、目に飛び込んできた。旅の終わりに、私は学生たちに話した。「だからこそ、よけい来てよかったね。」そう、私たちの活動など、活動といえない激々たるものだが、終わった後、これまで以上の達成感があった。最後になつたが、初鹿野恵蘭理事長、協会東京本部・昆明事務所の方々に心からおれを申し上げる。雲南の子どもたちのため、これからも大活躍されるよう、私たちも声援を送り続けたい。

國立館大学 工学部 柳川 紗貴子
言葉が通じないことはとても不安でし
が、実際に運動会を通して子供達や地域
の人々と交流してみると、そこには多くの喜び



本公司承認開頭山田先生一行人是開本門領事館的正規代表。



施設小学校での玉入れの様子

5周年チャリティー忘年会開催!

2005年11月20日(日)、日本・雲南聯説協会の5周年チャリティー忘年会を開催しました。今年は5周年のお祝いとあわせて行い、100名を超える方が出席してくださいとてても賑やかな会となりました。2000年に発足して以来駆け足で活動してきた聯説協会を代表して初鹿野理事長が設立当時の思い出を交えながら挨拶をするなど、終始とても温かな雰囲気でした。事務局からも協会活動の説明を行いました。



片岡顧問が乾杯をしきりました



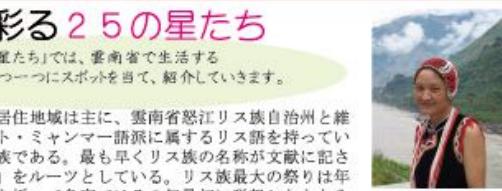
和気あいの雰囲気



東郷会員・京王プラザホテル多村様・磯部様



大盛り上がりのbingoゲーム



連載 雲南を彩る25の星たち

「雲南を彩る25の星たち」では、雲南省で生活する25の少数民族一つづつにスポットを当て、紹介していきます。

第3回 リス族

中国全体会の人口は575000人。居住地域は主に、雲南省怒江リス族自治州と維西リス族自治県である。チベット・ミャンマー語派に属するリス語を持っている。リス族は長い歴史をもつ民族である。最も早くリス族の名称が文献に記されたのは唐代で、当時の「烏蛮」をルーツとしている。リス族最大の祭りは年越しの「關節祭」で、五穀豐穰を祈って各家ではその年最初に脱穀したもちや米を備える。また、民族独自の暦「自然曆」を持っており、旧曆の12月5日から1月10日前後が年越しの期間となる。1年は開花月、鳥叫月、焼山火月、采集月、収穫月、煮酒月、狩獵月、過年月、盖房月など10の月に分かれている。民間文学が多彩で、『創世記』などの神話や伝説が残っている。協会支援の第4校目中華人民共和国雲南省麗江市玉龍納西族自治县、第7校目中華人民共和国雲南省麗江市玉龙纳西族自治县はリス族の子ども達が多く通う。

第3回雲南省教育支援 チャリティーゴルフ大会!



始球式の様子 初鹿野理事長



上) 成績発表後のコメントを1人ずついただきました。
左) 高橋会員、コースでの運転の一打!



表彰式を兼ねた懇親会での集合写真



少ない女性参加者の中でも大健闘しました、渡辺会員と初鹿野理事長 賞品を手にして。

グローバルフェスタJAPAN 2005. バザーを出展しました。

2005年10月1、2(土、日)、日比谷公園にてグローバルフェスタ2005が開催されました。これは国際協力を中心として活動している団体が何百も参加する、日本最大の国際協力イベントです。当協会も昨年より引き続きブースを出展しました。協会のPRやチャリティバザーなどは、協会にとって重要な活動の一つです。協会のブースには様々な年代、国籍、分野の方たちが来てくれました。中国からの留学生や国際協力に興味のある学生、雲南省に興味のある方、雑貨が好きな方、偶然フェスティバルを見つけて来てくれた方などなど…総計500人ほどです。ブースに来てくださった方々1人ずつに、ボランティアの皆さんが丁寧に協会の活動や雲南の紹介をしてくれました。今年のグローバルフェスタ JAPAN 2005では確実に今後につながる種を咲くことができたのではないかと思います。今回ブース出展を手伝ってくれたボランティアの皆さん、応援に来て下さった方々に心からお礼を申し上げます。千葉や茨城、長野、愛知など遠方から皆さん駆けつけくださいました。炎天下のなか、立ちっぱなしで一生懸命協会のアピールをしてくれました。また差し入れを届けて下さった、法人会員昭和情報プロセスの小崎さん、磯部さん。お忙しい中駆けつけてくれたJR総連の皆様、初鹿野仁様。荷物の搬送で車を出して下さった、21世紀のカンボジアを支援する会の山口さん。皆様有難うございました!

非常感謝!!



【当日ボランティアの方々】
近藤鈴一さん、真砂泉さん、前田亞由美さん、神立めぐみさん、本田才子さん、彌永準一さん、陸雅さん、小山麻太さん、橋林さん、張萌さん、中村修一さん、鄭小丹さん、感謝!

協会トップニュース

■小京都 高山市を訪問



古の都の雰囲気残る高山の街並み

2005年9月2日、初鹿野理事長と片岡顧問が岐阜県高山市を訪問しました。高山市は中国雲南省麗江市と友好都市協定を結んでいます。会談の席では、両市の交流状況や雲南から研修生のお話を伺いました。日本友好イベントの開催など、両市が活発に交流している様子を聞くことができました。



高山市役所の職員の方々と

■協会運営ビジョンについて討議



和やかな役員会の様子が伝わってきます。

2005年9月12日、東京事務局で第3回聯誼協会役員会を開催しました。今回の議題はチャリティー忘年会。今後の活動・第6、7小学校開校式の報告・協会HPリニューアルでした。中でも、HPのリニューアルに向けた協会運営のビジョンの明確化を中心に活発な討議が行われました。今回の役員会には8名が出席致しました。皆さまお忙しい中、本当にありがとうございました。



華麗な中国舞踊が会場を盛り立てました。

■56周年建国の祝い

2005年9月29日夜、東京のホテルニューオータニにて、中華人民共和国建国56周年祝賀会が開催されました。日本各界の代表や在日華僑華人・留学生代表1000人余りが招待された盛大なものでした。初鹿野理事長と片岡顧問が出席し、協会PRをして下さいました。



華麗な中国舞踊が会場を盛り立てました。

呼吸法と瞑想を通して真我に出会い—【原久子の瞑想・呼吸法コース】

私たち人間が生きているのは『三次元の世界』ですが、心は『異次元』の世界にあるのです。三次元で実現することは異次元（心の世界）でいったん思ったり、感じたり、想像した結果なのです。これは心の法則なので、私たちが常日頃、心中で何を思い、どう感じるかによってその人の運命はプラスの方向にもマイナスの方向にも展開していくのです。つまり、感謝や喜びの心で生活をしている方は、感謝や喜びのある人生が展開され、不安や恐れ、不満の心で生活しているとマイナス的な事に翻弄してしまうことになります。皆様方の理想が実現する方法がこの瞑想・呼吸法コースにあります。瞑想・呼吸法コースでは、毎回、原久子の講話と瞑想・呼吸法を行っていきます。正しい瞑想呼吸法を実践してくださることによってどなたでもアルファ波の微波が出来るようになっていきます。

【瞑想・呼吸法のテーマと日程】時間 PM1：30～PM5：00 (PM1：15～受付開始)
1月22日(日) 五体投地の呼吸法・希望実現瞑想 2月5日(日) 自己ヒーリング呼吸法・真我実現瞑想 3月26日(日) 感謝の呼吸法・感謝の瞑想 4月23日(日) 五体投地の呼吸法・感謝の瞑想

【コースの内容】原久子講話・ストレッチ・ヒーリングテーマ別瞑想・呼吸法・質疑応答会
※1回体験料500円(税込)お問い合わせ、お申込みは原久子カデミー事務局まで。

対申ビジネス支援情報誌

大上海圏PRESS

日本の企業戦士が、日本語で読む、進出企業情報!!



9月創刊号、1月号

大上海圏はGDPの25%を稼ぎ出す中国经济をけん引する最もホットなエリアです。本社ベースで5500社を超える日系企業が進出、今後の進出希望先としても一番人気の高い大経済圏です。

小誌では進出企業が抱える市場開拓や人材確保にまつわる悩み、予見しがたい中国リスクなど足元にある具体的な問題に焦点を当て、解決への糸口を示します。日本国内と大上海圏とのネットワーク網を駆使しあらゆる角度から取材。新鮮で具体的な情報の提供に努め、皆様の対中ビジネスを強力に支援して行きます。今までにはない、斬新な発想に溢れた待望の雑誌の誕生です！

■雲南への投資意欲高まる

2005年10月21日(金)、東京赤坂プリンスホテルにて「雲南観光・投資促進説明会・懇親会」が開かれました。日本企業の雲南への投資関心を高めることが今回の狙いです。雲南省人民政府主催、当協会は協賛の形をとりました。雲南省側からは省長はじめ政府関係者や外資投資・旅行関係部門、日本側からは大手企業など、総勢300名程が参加しました。

同日、初鹿野理事長、北原理事、唐澤理事、片岡顧問、中村社長(昭和情報プロセス㈱・法人会員)ら協会関係者が、雲南省省長と会談致しました。省長からは協会の教育支援や医療、学術交流、出版など多岐に渡る活動について大きく評価して頂きました。企業だけではなく、民間団体の地道な交流活動が種として、両国の友好を作っていくことを語されました。



写真より、唐澤某委員長、中村四郎社長、片岡顧問、初鹿野理事長、徐崇胤雲南省省長、北原茂美理事、雲南省府総部主任



会場風景

■雲南フィールドワーク報告会参加

2005年11月19日(土)、東京市谷のJICA国際協力総合研究所で開かれた「第2回雲南懇親会」に、初鹿野理事長が参加しました。雲南懇親会は、中国雲南省の最高峰梅里雪山を中心とする雲南・チベット地域やその周辺地域の総合的研究を進めることを目的として2004年12月に発足しました。当協会の会員である筑波大学大学院生命環境科学研究科教授の安仁屋正武様が会の中心となつて活動していらっしゃいます。

19日当日は、安仁屋様ご自身の研究の報告の際に特に時間をとって下さり、協会についてご紹介下さる場面がありました。雲南に造詣の深い方々の前に協会PRが出来る事はとても有難いことです。会を主催された安仁屋様はじめとする皆さま、本当に有難うございました。また協会会員である学習院大学図書館館長の荒川一郎様とも会場でお会いする事が出来ました。

■支援の連帯を考える

2005年12月3日(土)目黒で行われた、JR総連主催のNGO・NPOの活動報告会に参加致しました。当協会は事務局スタッフらが出席し、協会運営や小学校建設プロセスについての説明を行いました。今回の報告会のテーマは「今、国境を越えて、支援の連帯を」。会では、色々な団体の方と会話を持つことができました。支援現場における経験やノウハウを、他団体と共に共有することは、今後の協会活動の更なる発展に活かしていく事も出来ると思いを新たにしました。最後になりますが、報告会の合間にには雑貨やお茶の販売を杉山ちひろさんと小山巖太さんが手伝って下さいました。ご協力ありがとうございます。当日の総売り上げは13,515円でした。

ご存知ですか？雲南省



原アカデミー事務局
直轄管轄地区:西蔵南
3-6-16-605
Tel:03-3338-1170
Fax:03-3335-3202
e-mail:office@yunnan.ac.jp
<http://www.yunnan.ac.jp>

雲南省図

中国図



雲南省は中国最西南部に位置し、ミャンマー・ラオス・ベトナムと国境を接しています。面積は約39万平方キロメートル(日本とほぼ同面積)で人口約4300万人です。面積の94%が山地で、海拔767mの鎮南河口から、6740mの梅里雪山という高山も存在する特徴豊かな地域。世界遺産登録地も多く、最近では観光面からの注目を集めています。

活動応援のお願い

NPO法人日本・雲南聯誼協会では、協会活動を応援してくれる方を募っています。会員としてのサポートや、各種イベントでのお手伝い、ご知人のご紹介やビジネスパートナーとしての登録など様々な形態のサポートがあります。詳しい情報、パンフレットや会報バックナンバーご希望の方、入会のお申込みについては協会事務局までお気軽にお問い合わせください。

あなたのサポートを
まっさます！



【連絡先(東京事務局)】
TEL:03)5435-5977
メール: yunnan@jyfu.org
【会員費】
正会員 6000円/年
賛助会員 12000円/年
法人会員 18000円/年